

***** The Future We Want

Name : 田中匠

Age : 11

Date : 5/8

地球サミット2012(リオ+20)に参加する方達が、この
文章を言売って、少しでも多く、これからの地球に言乱
合ってくれることを願い、書きました。最後まで言売っていた
だけたら、光栄です。

僕が望む未来は、世界中の人々が協力しあえる未来だ。
なせなら、王見在、世界夫見木莫の問題となつていることを
解決するには、世界中の協力が必要だと思つた。
国の意見をまとめた、その意見を元にして国を動かしてい
には、政府の力では限界がある。だが、国民の協力が、政府
の力に加われれば、国全体を動かすことができるはずだ。こ
れと同じく、世界全体を動かすには、国連の力だけ
はほぼ不可能だ。世界各国の国民、つまり約70億人の
協力が必要だ。しかし、そのような大勢の人数だからこそ、
まとめることが、難しいなつているのかもしれない。さらに、国連の
会議などでは、ましてもに会議などをしてない国もある。そんな国が
いると、70億人で協力するおかりか意見をまとめることも
できなくなつてしまふ。そのためにも、各国との良い関係を
築いて、協力しあつては重要だと思つた。たとえば、貿易

***** The Future We Want

摩 擦 などの無い 貿易をして、おたがいに足りない物を
共有しあったり、その国と、政治上もいっ、関係を作ら
せ、などだ。最近だと、東日本大震災がおこった時、日
本各地から、かなりのボランティアが東北に集まった。また各
国からも、ボランティアや救急隊員、支援物資などが
集まった。こんなことも、立派な協力だと思ふ。こんなに重要
な各国の協力、その協力があれば、様々な問題が
解決できる。各国で日々起っている事故や犯罪、貿易問
題や外交問題、環境の問題、そんな中でも特に
大きい問題の3つに焦点を絞って考えてみる。

1つ目は各国どうし、または国の中での貧富の差が激しい
ことだ。日本やアメリカなどの先進国では、食料や日用品
などが、余るほどある国もあれば、リビア、アフリカ周辺などの
ように、食料不足で死んでいったり、日用品もなく、清潔
を保つことができない上に、病気に感染したりする国もあ
る。そんな貧困を解決できるものは、やはり協力だと思
ふ。物が余っている先進国つまり日本などでは、ユニセフ
がほ、金を集めている。その集まった寄付金を使って、食料
や洋服などの日用品を寄付したり、ワクチンなどを使い、病
気を直すことが出来る。また、その国の、貧困問題を解

***** The Future We Want

決できれば、協力してくれる国が1つ増えていく。世界でましまり、協力し合うためにも、国や政府などは貧困問題の解決に資金などを提供した方が良くと思う。

2つ目の問題は、各国どうし、または国の中での戦争だ。1992年、当時12才だったセヴァン・スズキが環境サミットで言ったように、戦争の軍事費や、新しい武器の開発費などを、全て貧困や環境問題の解決のために、費やせば、地球は平和で豊かな星になるだろう。だが、現在でも戦争や紛争を行っている国、土地争いがあり、核兵器の開発を進めている国もある。そんな国々を止めるために、他国が協力して、条約などを結べば、戦争も止められるのではないのか？ 開発を止めることも可能ではないのか？

3つ目の問題は、環境問題だ。先進国の開発の進めすぎが原因となり、自然が破壊されたり、ダイオキシンなどの有害物質が空気に放出されたり、公害がおきたり、など、色々な問題がある。そんな問題を解決するには、やはり環境問題の元となっている、先進国の協力が必須

***** The Future We Want

要だ。有害な物質を放出しない工夫を、工場などに
したり、京都議定書やモントリオール議定書のように放
出量を制限する、など、いろいろの対策がとれる
はまた。だが、環境問題には、セウア・スズキが言っ
ていたように、もう、人工的に直せない物がある。オゾンホ
ルや絶滅した動物など、もう、福島第
一原子力発電所の事故で放出された放射能
は、弱くならない限り、除染をしても、消えることは
ない。このような、人間がやった過ちの責任として、
技術を使って直せないか、どうかを考えた方が
重要だ、と思う。

1992年にリオデジャネイロで行われた地球サ
ミットから20年、セウア・スズキのスピーチから20年が
たった。大人達に未来を考えて行動しろ、ほい、と言ったに
も、方々から、今では環境問題が、石皮、土、水、環境
問題は、増える一方、でも、本当に未来のことを
考えて、い、た、の、で、あれば、福島第一原発の事故も
おきなかっ、た、か、も、し、れ、な、い、。京都議定書
も守られていたはず。

1人1人の力で、国を動かすことはできない。しかし、

***** The Future We Want

その一人一人は、コニセフのほ金活動も行ったり、缶の
アルミアや、ペットボトルのキャップを集める活動も
行なったりしている。しかし、政府は、国民が協力
しているにもかかわらず、環境のことなどは考え
ずに、経済のことを優先しています。各国での協
力を築こうと努力しているのかもしれないが、僕に
はそれは見えません。むしろ他国での関係を悪くし
ているように見えてしまう。アメリカやヨーロッパでの貿易摩擦
や、公害などが、その結果だ。そんな政府に言いたい。
時には自分の利益を追い求めることも必要だが、
できるだけ欲は捨て、日本の代表である政府が変
わらない限り、日本も変わらぬ世界も変わらぬ。世界的
な問題解決するには、世界の協力が必要だ。

僕は、そんな世界を目指すために、ほ金活動やボラン
ティア、環境保護など、できるだけ色々な活動に参加し
ようと思っている。どうか、政府にも、各国の代表にも、協
力してほしいと思う。